

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はばたきキッズ			
○保護者評価実施期間	R7年12月3日		～ R7年12月27日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数)	43
○従業者評価実施期間	R7年12月3日		～ R8年1月15日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容に応じた環境の提供。 いろいろな体験(米作り、製作など)の場の提供。	身体を動かす活動が基本の為、活動内容や天候によってグラウンドやドーム等を借りるなど、広いスペースでおもいきり身体を動かすことができるように配慮している。 学習時間や制作の時間(静)とおもいきり身体を動かす時間(動)などといった静と動のメリハリを意識して計画や活動内容、活動場所の提供を行っている。 児童が「〇〇したい」と意見が言いやすい環境作りを意識している。 職員も児童と一緒にしておもいきり身体を動かすことで、児童が安心して活動を楽しめるように意識している。 季節を感じられるような内容や5領域を意識して活動内容を工夫していく。	雨の日でも身体を動かせる場所など、新たな施設の開拓をしていきたい。 サッカーやディーボールを主体とした活動以外にもいろいろな活動を取り入れて行っているが、それ以外にも多くの活動をどんどん取り入れて多くの経験をしてもらえるように継続していきたい。 職員の経験を踏まえた活動内容もどんどん取り入れて子どもたちの刺激になるようにしていきたい。 活動内容の充実のために子どもたちの意見を聞いてどんどん取り入れていけたらと思う。(アンケート等の実施)
2	個別対応を行っているため、職員と児童間でコミュニケーションを密にとることができ、より良い環境を築きやすい。	活動前、送迎時の会話を大事にし、子どもたちの興味(流行り)にも意識を向け共通の話題を持つことによりコミュニケーションを円滑にとっている。 気持ちを否定せず、本人の考えを可能な限り尊重する。	褒めることや励ますことに加えて、児童が抱えている気持ちを受け止めていくことで「ここなら分かってもらえる」と感じてもらう、心のよりどころになる。 不登校などにも対応し、フォローアップを学校や保健師と連携しながら行いたい。
3	保護者との情報共有。	活動後のお迎えを保護者をお願いしているため、直接その都度情報共有が行えており、その都度素早い対応ができるようにしている。	現在、送迎ニーズが高まっている状況のため、今後、ニーズに対応していった際も、適切に情報共有ができるように話し合いを重ねていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児発管不在。	児発管不在により、個別支援計画が未作成。 それに伴い、個別支援計画に沿った支援ができていない。	代替用計画を作成し、支援にあたっている。 適切な人員配置を行う。(R8.2月～配置)
2	家族支援(アンガーマネジメント、ペアレントプログラム)を開催できていない。	グループ内に資格を持った職員がいたが、退職。 それに伴い、家族支援(アンガーマネジメント、ペアレントプログラム)が開催できなくなった。	職員が研修等を受け資格の取得。 外部講師の手配。
3	地域の子どもたちとのかかわる機会がない。	事業所周辺の地域状況によるもの。 事業所周辺の子どもが少ない。	親子活動や兄弟児参加のイベント等を開催しており、事業所周辺ではないが、農家さんにご協力いただいで行わせていただくといった機会は設けている。今後はグループ事業所との合同での活動等を行っていきけるように、まずはそれぞれの事業所の特色や利用児童の状況を丁寧に共有・把握して、継続した活動にしていけるように話し合いをしていくことが必要と考える。